巻之一 羅山先生
追鷹 全

600
110

門 曾 4
號 600
卷 110

懐舊のうた并詞書　曲亭馬琴

此身ハなくなりましたよりよまんとたのみ
あはれ信けむかしもとより出る事の多くあれバ
うかふ文つくゝ枕ことに宿を知らぬ文庫の
葉とたのまることのうへさへあるにや秋の夏
に残る形見の扇に汗をとゞめるをそれハ
たえぬ家の面をうつすにも似たる
めくれ行く風の便りもなき人の
三とせのけふにあたりてさうらうき
是ハわか父の興文の母・三回忌の手ずから詠しる

瀧澤文庫

法莚開口

今茲(コトシ)八月十二日は亡兄羅文の大祥忌を
迎へされは予青山舊友の人々相はかりて
生死の交りをたゝさむと專ら蕉門後学の
大井子芳竹亭の桃遊子杉子俳諧を
邦し 阿耨多羅三藐三回のゑふを云へ
もとのよく十念せ十百韻を催して俳諧
一切経の追薦をいとなまんとし嘘我聞
一時仏説き子仏わとの心ゑて亡き生ぁ

噫有るもの文ともハ一巻となるの校維子ほと
ゝ離苦得楽の功徳をなさん事とは
ずなは 他力本願の称名を
なくたふ衆生に仏より世ゑる為ち
文字も本迹に終に一しこゝをりくなの
世界の四識の刹那をおもふと去るき
なかか和来ころ無く何ゆゑ金剛の句を
こゝのく家子数珠追善の灑を述六
南畝源興邦追羅文居士妙書学の挽
寛政庚申八月 家弟 曲亭馬琴謹書

[illegible]

天 雪凝評 五 寝うつらく又こと[illegible]の秋 馬奉

地 下馬奉自評 但自句八巻〇下八補助一直ノ句ヘ 爰子評書

四 [illegible]

二 [illegible]の樹々の友なるもの

一 [illegible]

一 [illegible]

一 貸[illegible] 執筆

一 [illegible]の外湾五のせ[illegible]も昭[illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]

四 [illegible]

四 [illegible]

五 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

五川 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田舎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 口実記文集 二 三篇 五教

一 斧の柄も朽ちて墓石の花筒

一 技業千年あり万歳まで

四 出智力の費ひ 洞を包む 錢

五 壻を待つ 鞭の役 紅

一 うつの長中を割 紫の袋年房

四 ふつう 伐る 板の木一本

四 山道 朝日夕日の面白き

五 天福 神を 六 旅

六 蕎麦を作る 必死の助 堺

五 度々 ほ と 遠里の 蕨

一 田植人の 笛吹 年寄

一 猫は 宮 押入

六 ちゝ 鄰の 鍋 板子のうつせ貝

四 一医 ちも 悔を 云 立

一 ちのうり 後の 月 墓

三 袋の 糸も 白 ちゝ

四 野花ひよ ほ ちの 嗅

一 仁も 数 丁 作

一 小倉と云ふ昆布換ノ集場
一 竹の火四ヨリ出ル彩煙ノ
四 丈夫物と云ふ以ても服象棋
四 碁も大流行 京の孫后
一 海ノ稲の挽ふる大島紬
一 うき世ノ藤ノ四時の交加
四 詩ふる下戸の図を殺く西能乳
○ 隣ハ云ふ所の月象
五 方廟ノ風あり世間清障子
一 伯母もよりく居る車座

五 ちとこゝろ花ふ所の法師者 物遊
一 宣解ノ云ふ紙の激枕
四 陽ふる蔵星ふ蔵ふ忘
一 無当仕也 也 紅
五 入智る下り役ふの七小町 五川
一 外ふ格ふの志月夜賣買
一 知ふ歌のあり家告て出
一 守ふ花ふ蔵ノ俗別
四 星的ノ時門をあり接荷紙
一 星あふふ妙ふ

二　[illegible]

八　三[illegible]

五　書事を[illegible]

一　[illegible]

一　箱[illegible]

一　[illegible]の弓の[illegible]

五　[illegible]

四　[illegible]

四　[illegible]

一　[illegible]

一　麦[illegible]

一　[illegible]

四　[illegible]

四　又[illegible]

一　白川の[illegible]

一　鎌[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

四十　やもり比[illegible]

一 条殿の大仏陵の白鷺の舞 月 花
一 牛車にて賜る小金人 田舎
四 翠の柳に戸ぶらもる高殿 萩山
一 思ひとゝまぬ宴も 田舎
五 美柳の浦に遊ぶ
一 たゞしの森の下り水 ヽ
五 いつの夕の屋敷の風に 仕舞 ヽ
一 きゝもしらぬ世の恵に ヽ
一 宮殿もたゝふ宿を立出 ヽ
四 風の吹雪のあとの落葉 ヽ

一 機棚の水を嚙く明の月 萩山
四 爰と知りしも寝所 ヽ
四 意病の時の加減の間 茶 ヽ
十六 一 習ひの天竺も所 ヽ
二 番通の事絶もそれの縁 ヽ
一 後 朱坊の功もやゝ成 ヽ
一 繁陽の水にさたる此夕 ヽ
六 けふの弟をの以来部屋 ヽ
一 六位殿の上使下り 神いさゝ 田舎
一 道を教へ 弟よりとゝろ ヽ

二 時の新を小春の結の鬢に挿すなり　田舎

一 日もうらうらこうるる春の時

續二百

四 三月雪をうらうらに降る雛の宿

一 ずうずうしの時の琴風

一 源氏殿又暖かに朝りに

四 庭の外せ鶯に車尾の鈴鈴

一 腦風雲の村を出おさめ月淋

九 美義の外に皆淡しなる

一 平綱のうつるうるる夏の月

一 小角力もとる村乃達者

一 紙帆に鶯鯨の鏡ひけり

五 板川落ちるおそし水音

四 出女の鏡に白八ツ下り

二 濁るぬるもと風呂の油川

一 うるおるる懸の江戸の富

一 宵人宮連に徹て吸筒

九 一雫もまる地に滴沉

一 如雨ちと水に洗石塔文川

一 月出る山赤と敷と糸と

一 [illegible] 仕 [illegible] 塚 [illegible] 文 [illegible]

四 [illegible] 居 [illegible] 自 [illegible] の [illegible]

四 [illegible] 童 [illegible] 家 [illegible] の [illegible] 書

四 [illegible] 一日自 [illegible] 他

一 [illegible] 古 [illegible] を [illegible] 代の

一 [illegible] 切 [illegible] の [illegible] 如 [illegible]

一 [illegible] 塩 [illegible] 抜る [illegible]

一 [illegible] 髪の [illegible]

八 [illegible] 廊 [illegible]

一 [illegible] 女を [illegible]

七 [illegible] 氷室 [illegible]

五 [illegible] 砂 [illegible]

一 [illegible] 月 [illegible] 京 [illegible] 慢 [illegible]

一 雨 [illegible] 雲 [illegible] 星の数

四 [illegible] の [illegible] 身の [illegible] の [illegible]

一 [illegible] 石 [illegible] 者 [illegible]

五 [illegible] 刑 [illegible] 八 [illegible] 紫

二 [illegible] 廣 [illegible] せ [illegible] 部の [illegible]

五 [illegible] 文 [illegible] 秋の [illegible] 火

四 [illegible] の [illegible] 到 [illegible]

五 四 掛きし世まくこの花に枝変 丶 石川

一 男ひきや此仮宅へ宿帰とハ 丶

一 兄とゝ伸せく淋しさ解る 丶

一 丈競へ互子髷を吹されれ 丶

一 青葉にも帰を風にとらまく 丶

一 藪の光れ夜網の塚つくく 丶

二 芦枯し藻にうる乱杭 丶 △ふみ白く

四 母酔よらて来庵ゝ家の日雇債 丶 △隣ゝろ売

五 解なく話も打れ旅 丶

四 力石雑よく湿る月の雲 丶

亖

四 一 若嫁ふ菊よりまきしゝち 丶

一 一 葉に露欠まれ紅葉の二番種 丶

四 一 何姥かやく畑持し庵 丶

一 只困かの絶ゆ斗ゝ墓守ゝく 丶 △よわ

一 尾ずゝるゝも住の名山 丶

四 一 清火入子一顔の為ず菌ニ丸 丶

一 四 夕ゝ居振八垣ゝにも災 丶

四 叶ぬ老先自卸の花ゝ来く 丶 △よわ

六 殺ぬ菜肉を捲よくかねる 丶

四 致仕の後髪三五を刹世界 丶

椒遊

四

十四

一 こゝろもとなく刺しそへし我が子の行末

一 故郷を捨て行く雲の白の時 月の時 藤の花

一 去年の今日と思へども 夢の中 旅衣

一 昔代の水の上 海も空の色 月

一 袖ぬれて知るかの人 年暮れて春の元 月

五 園の子汁 椀の星 数も重ねし月

一 酒なりけり 社務の庭借る

四 小坊主に勝 振させて 松ケ浦

一 ものを捨てて 稼ぎの道 写

一 物の名も 智恵 月 凡ち紀の国 沈

一 虜 尺 ものを家の 所 やう

一 掛 月 雲 すれ 袖の物

一 情 富 星 白 青 梅

一 ふ 物 白 ふと 夕 月 雪

五 塩 簾 笛 も 光の時 米 宮 月

五 嗅 猫の 迷 出 紫 煙

一 窓 扉 を 老の 迷 懐

一 羊 ゝ 掛 も 芭蕉の時 弓 勢 も 人 徒

五 婚 卯 を 知 老人の時 ら 張 る 学

三 前 を 行 る 待 る 暮 夜 第 屋

一白髮なるこのたぐひこれ孤遊
四行末の名聞を惜む尚歯会
一給仕の子等ハ幣の手柏
一初恋のいろはほのめく文字冥
一風ちらつく咲る髮
六落々々六月雨
四不面へ菩提る風は動搖
一健男の幸若の舞ひ物
一屠蘇不知る任の仁政
一いな年々稽の杭ある末考順

一河も責切候も貴きる
一御上洛人心八年稲の栗田に
一落千本供奉の数強
一雲掃々傍の稲乃月象
一何を目書なる太の遠帆
一遊剥の業やら不紀のくさ花 嶽山
四中も古る松よ泊遊蹴
一四方の嶽々嶽の河の如き
一寡々々の寺宝門
五白莫よ先吸物ふきめく亜

一 今日迄ハ不・茂の美景 庵心

四 出陣の節ハ和睦を結ぶ事、

一 夏中一次ぎる風の如き、

續三百

五 秋迄ぎるつゆをはらきの演奏、

六 雲のてるを琵琶こうけり、

一 うるうる胡国の蘭の日をうち、

一 明るれども晴るよ 杉の下枝、

四 物寂るる菜寮の新の古来夏、

四 蒙賛の後ぎる展生云ふ、

一 西行不別ぎる賛ぎ月、

一 七夕ぎる 立花 乃秋風、

五 紫月ぎ三ぎ世ぎる 之草、

一 むう 北野ぎる門 鈴木、

二 七里ぎ 砂ぎ 海雲、

一 暑ぎ 今の白雨 田舎

一 砂ぎ 之草 源庵 の頃ひ連、

四 稲荷の宮ぎ 鳴る 遠打、

四 出雲ぎ 世ぎ 雲ぎ 之ぎ 織、

一 鶏の 鶏ぎ 庵ある 毎、

五 笠ちの山の清水に月の影
一 露霜石に光る玉
一 小物も拾きよ迎よすてるの
一 法師も去るまの暁
四 濃紙に筆の美麗
一 ムはえ蝶花々まを踊
十与 仇口のうつ笠人に教れ
一 百度ムも嘉の彩拭
四 拍子の一吹廉々風のと
五 笠ちの数を渡々待細

一 遠近の鐘に黄昏
一 又涙破に四の人羅
一 弓と矢を供よ
一 拍子する物に雲む
一 糸ぬの若葉々結ぬ
二 増れ果河ムに示
五 幸鶯好隣の門に掃
四 河やうちに黄の鶴
一 ちんとを月ムに結
一 羽織 ちさ世弘 夜の長

四六

安野の小ちも清る山荒

一ちけ[illegible]の放家の年

四 あゝの秋の江海歌の[illegible]

四 [illegible]神と流れる一々

一 とりもちまとまて見ることを大底

一 長寿めでゝ使の鶴へ[illegible]

一 [illegible]の[illegible]庵きの月の照

一 小町躍の態も[illegible]

四 秋の年ふることの[illegible]

一 清ゝも[illegible]牧の秋色

一 獲なゝやゝけ[illegible]

一 国と大の夜ハ世ハ[illegible]

一 [illegible]の[illegible]の待きき

四 [illegible]

一 数ちゝ[illegible]の[illegible]

一 [illegible]の居角[illegible]

一 [illegible]の[illegible]

一 [illegible]の[illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]の[illegible]を[illegible]

五 国の名ち[illegible]三代の[illegible]

四　[illegible]の吉野の[illegible]居[illegible]　藤小

一　[illegible]の[illegible]　[illegible]の白糸

四　[illegible]の[illegible]　[illegible]

一　[illegible]

六　[illegible]の[illegible]　[illegible]の[illegible]の[illegible]

一　[illegible]　[illegible]　[illegible]

四　[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]

十四　[illegible]　[illegible]の[illegible]　[illegible]

四　[illegible]の[illegible]　[illegible]

一　[illegible]の[illegible]　[illegible]

五　[illegible]の[illegible]の[illegible]

一　[illegible]の[illegible]

五　[illegible]

一　[illegible]の[illegible]の[illegible]

一　[illegible]

四　[illegible]

五　[illegible]の人[illegible]　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一 只管へ讓る田の[illegible]明 星月夜 板遊

一 雲雀の笛不[illegible]、星月夜、

四 列見る石崎さきの 高麗、

四 此地の怪物、

二 山と寺高[illegible]強数のもとき、

一 面白物[illegible]、浜中の沈[illegible]、

五 鶴ヶ崎あたま古墳の花廣子、

一 聖堂の[illegible]と疑ふ星数、

一 多くさきなる知れる小豆原、

一 石 恢漢ヶ天間ヶ沼、

四 [illegible]大の[illegible]紫の[illegible]之川

五 雲ま埋一 墓を[illegible]、

四 [illegible]雲も[illegible]の[illegible]、

一 [illegible]月乃小[illegible]、

四 投[illegible]の一[illegible]死[illegible]蟬 虫、

四 此命[illegible]の沖の[illegible]、

一 [illegible]子の尾ヶ[illegible]沢芋、

一 年[illegible]晴[illegible]芋柳の[illegible]、

五 朝[illegible]の梅の[illegible]下の水[illegible]、

二 泛列[illegible]の赤ハ[illegible]。

五 江戸欣の酒も接遊の筒義　之川
一 詩箋の寄附の作もてきまる
一 きまりけり故郷一の花の枝　馬寿
一 留きるのきれ　之川
　　物も世話
續四百
四 歌莫に新宮院の百手者　物遊
四 三月三日　会所白
一 留の寄る他　会所白
一 つき地　うき名の立神
五 物語る窓の寄も莫忘　馬寿

一 景言も莫の心風を吐
五 鶴傳ふ酒ひ　めり　鶴鈴
一 雪の寄　星の新緑
六 初夏の高も　鳴居の去産
一 四半を雪の　鶴　杖
四 五半　梁の　つめ　鶴も病
五 蕪乗　蕪　新の物語
一 春　市の　雀
四 見物　風呂の出光
四 ちろ　歌遊　美の宝窟

一 撥もつかぬ所 [illegible] 松 [illegible]
一 [illegible] 清き [illegible] 川
四 [illegible] 星 [illegible] 売る 鮎の [illegible] 焼
五 [illegible] 男と [illegible] [illegible] 門 [illegible]
一 撥もつまびく [illegible] 三絃乃 [illegible]
五 [illegible] の月 [illegible] 蓬 [illegible]
一 おろす間 程の [illegible] [illegible] 位 [illegible]
四 沂る流のあや [illegible] 魚の 樓
一 海辺の [illegible] を [illegible] 尾 [illegible]
一 一杭の [illegible] を [illegible] [illegible] の [illegible]

二 [illegible] 六月 [illegible] 穴 [illegible] ハ [illegible]
六 油 [illegible] 卜 [illegible] 醫 [illegible] の [illegible]
四 [illegible] 校の [illegible]
四 [illegible] 牛 [illegible] 碑の [illegible] 川
五 [illegible] 器を [illegible] [illegible]
二 [illegible] 校の [illegible] 湖 [illegible] 寺
十一 四 武士 [illegible] 雨の [illegible]
一 [illegible] 知 [illegible] 人 [illegible]
一 沈牛 の [illegible]
一 地と [illegible] 沖 [illegible] 静 [illegible] 月

二　一百余年を経て　時節　庭の
五　陸奥御の方も　菅の実の秋
一　鄙　都　　　　　　　　　自得
四　数年　　　　　　　　　　
一　宣　　　　　　　　　　
七　山家の　懐　　　　　　
四　ふ　二　　　　　　　　
五　俗家せる　女の　　　　
一　疑　名代　　　　　　　
一　ろ事　　　　　　　　　

五　雲生学の　入物の　逆屏
四　雄　魚　　　　　　　
一　　　　　　　　　　　
一　苑の　　　　　　　　
二　一　　　　　　　　　
四　蛤の　十　　　　　　
一　百　　　　　　　　　
五　石女の　泣子を　　　
四　立　　　　　　　　　
五　夕　　　　　　　　　
三　時　　　　　　　　　

四　食

四 埋火よりかすかの白ふ梅 炭 田舎

五 今津出 〃 〃 〃 〃 〃

四 風さそふ芦の小舟 〃 〃 〃 〃 〃

一 初つるの止しに 堂 鐘の音 〃

一 新蕎麦は擬宝珠に立てそなへ 〃

一 地震の時なる不動の尊 〃

一 夕月の照さまに下り雲 〃

四 俗なる交りに身を寄る比丘 〃

一 泥石を宮さ引て十三夜 〃

一 来〃そのあ相師の富 〃

一 引きの夜籠より鶏鳴 〃

四 夜寒まさしく寒る若竹 〃

五 湯〃知る夫の廣沢 〃

一 年のうら冬もつき小菅 〃

一 新蕎の手の庵より流れ 〃

五 もさと流るる 〃

一 正巷のうらへより宿 〃

五 二百年日光の山本 〃

一 ちらと流れ月のうら宮 〃

一 うつの夢より姉る子 〃

一 地逸さ笠の吹さ 〃

三 [illegible] 解 [illegible] 凍 [illegible]

一 [illegible] 梅 [illegible]

四 口 [illegible] 傘 [illegible] 刺刀 [illegible]

一 [illegible] 黑 [illegible] 流風の謎 [illegible] 川

一 神 [illegible] 月 [illegible] 極 [illegible] 緑紅

四 廣 [illegible] 秋 [illegible] 所 [illegible] 杜 [illegible]

五 [illegible] 遠 [illegible] 獲 [illegible]

一 待 [illegible] 巴 [illegible]

五 [illegible] 輪 [illegible]

一 [illegible] 瀾 [illegible] 古 [illegible] 話日 [illegible] 社 [illegible]

五 雷 [illegible] 波 [illegible]

一 石 [illegible]

五 又 [illegible] 紫 [illegible]

四 [illegible] 月 [illegible]

一 相 [illegible] 風 [illegible]

五 [illegible] 流 [illegible] 頂 [illegible]

一 [illegible] 佛 [illegible]

八 野 [illegible] 馬 [illegible]

三 [illegible] 二 [illegible]

一 [illegible] 庭 [illegible]

一車を[illegible]の立少　馬[illegible]
四　彩り[illegible]世の[illegible]
一　[illegible]　杜の志の[illegible]

續五百

五　[illegible]
一　蓋[illegible]
四　湯[illegible]の輝[illegible]
五　作　碎日の[illegible]
四　[illegible]
五　[illegible]

五　[illegible]　[illegible]
四　[illegible]の秋[illegible]の[illegible]
一　[illegible]
八　[illegible]　脱
一　[illegible]
一　侍女[illegible]　[illegible]
一　[illegible]
四　[illegible]の[illegible]
二　[illegible]の剥[illegible]
一　[illegible]

一大和屋の夢子交ぐる月の照　月降
一夜空冴　凄く　特の吸物
六　新く張る諏訪の氷も秋の風
四　月く中年の簾の破笠　横山
一横柳　色の車　うつる花の中
一雲むし　材も　佐保姫　の衣
二月
四　見遣る　物憂を挽せく　其の面
五　まく　ゝ　ゝ　方の　ゝ　ゝ
一　古道の　雲むし　ゝ　ゝ
四　陸　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

一　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　切流　ゝ
一　雷　ゝ　牡丹　蔵　唐　ゝ
十四　履　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　月降
一　地上　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
七　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一　川　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
五　不易　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
四　三　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一　蔚天　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
一　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

一 [illegible]
一 [illegible]
一 小鮮の業者を[illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
四 二枚屏風より[illegible]
一 [illegible]
一 丸字切[illegible]

一 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
二 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]

五 仮初の風のまにまに中納言

五 君出陣の身知るまゝ

四 涙捨てかたもうらの浦千鳥

一 袋をよせたる人の居所

五 白妙のものゝ祝詞の表分別

一 三月さ晴れぬ旅もたゝ

七 月さきの風のうつせ貝

一 まゝ尾袖をぬるゝ時

五 時さハ知るもうらの生方魂

一 丈酒を止めるこの春月

一 お蔵の中にもうらの行使

一 国の祝もうらの御

四 編笠の門を秀る現せる

一 黒一ツを離れの多こゝ

四 洋服をゝ木の元を埋む荒社

一 開白〳〵と賛乃白興

一 すれ君を二年九月の月の点

一 撫もうら沖一仲秋

四 勅撰の頃さへ雪の小雪

一 隠居をこの〳〵留もうらの春

一 [illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
五 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
六 [illegible]
五 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]

四 [illegible]
四 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]

一 [illegible]
二 [illegible]
一 [illegible]
績六百
一 [illegible]
五 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
十 [illegible]
二 [illegible]
一 [illegible]

六 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
五 牡丹 [illegible]
四 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

一 [illegible] 猶の月草。田舎
四 [illegible]
四 [illegible] 後の友の [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
四 [illegible]
四 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]

一 [illegible] 老の [illegible]。
四 [illegible] 扇の富士の [illegible] 蘇山
六 神 [illegible] 三条の月
四 [illegible]
一 [illegible]
五 小庇に [illegible]
一 [illegible] 謎も [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
二 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]

五 [illegible]

一 [illegible]

五 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

五 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

十一 四 名立 [illegible]

四 [illegible]

七 [illegible]

八 [illegible]

一 [illegible]

五 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]の[illegible]の[illegible]の尾てふ　馬寿

五 丈夫の[illegible]を[illegible]

四 物[illegible]中新　建武元

四 音信きこゑの[illegible]の時[illegible]

一 [illegible]を[illegible]　月乃　詩

七 嘗を[illegible]ん　鬼道の[illegible]

五 秋、秋の[illegible]　勝乃[illegible]

一 いつ[illegible]天物を[illegible]　物遊

一 若[illegible]より[illegible]　新

一 [illegible]

五 [illegible]

一 物[illegible]　小夜[illegible]

四 [illegible]

五 下[illegible]　秋

一 年を[illegible]　待

四 [illegible]

五 童へ[illegible]　一　[illegible]乃　鈴

五 [illegible]

四 [illegible]

五 月[illegible]

一 疫面の能らく、其の病毒 [illegible]
一 [illegible]
一 古き清逢の [illegible] 葉
一 梓弓暮月 [illegible] 卿 垣守
四 万毎に風の [illegible] 菜玉
五 [illegible] 五川
一 [illegible] 唱 [illegible] 身
一 [illegible] の [illegible] せ好
一 酒 [illegible] 解 [illegible] 美
一 大 [illegible] 年の疫 [illegible]

五 潮 [illegible] の宮
一 [illegible] 砂 [illegible] 砂 [illegible] 書
四 いろいろ [illegible] 探 [illegible]
四 [illegible] 文 [illegible] 所 [illegible]
一 [illegible] 海 [illegible]
五 [illegible] 部 [illegible]
一 六部を [illegible] 疫 [illegible]
一 色 [illegible] 軍 [illegible] 分 [illegible]
一 神 [illegible] 力の風入
五 [illegible] の [illegible] 清 [illegible] 際

一 [illegible] 門 [illegible] 去の [illegible] 奥方 立川
二 御 [illegible] 東京 [illegible] の [illegible] の [illegible] 手 [illegible]
二 御 [illegible] 去 第 [illegible] 入る [illegible]

続七百

一 [illegible] 蘭 [illegible] 去 師の [illegible] 横山
四 永百 [illegible] 接 [illegible] 尾
一 加持の [illegible] 絵 [illegible]
四 月 [illegible] 蓮の [illegible] の [illegible]
一 [illegible] 巣の [illegible] 後 [illegible]
四 [illegible] 人 [illegible] 越

一 [illegible] 書 [illegible]
四 [illegible] 名 [illegible] 寺 [illegible] の
一 法 [illegible] 鐘の [illegible] の 席 [illegible]
四 [illegible] 立 天 [illegible] 禅 蘭
二 [illegible] 巣 [illegible] の
一 [illegible] 怖 [illegible] 横の [illegible]
四 時 [illegible] 御の [illegible]
二 [illegible] 村 [illegible] 附 [illegible]
一 [illegible] 前 [illegible] 囲
一 百 [illegible] 止メ [illegible] 元の八 [illegible]

一曲水の月は色だにうつらぬ
四 ものの縁なる芙蓉こそ
一 かりそめなる芙蓉の露も押のけ 月影
六 徳備の如しとかるをい歌
一 物ゆかぬ潮のうら沖の浦際
一 ひとすじ 小の家数
五 白雪の時 一筋 虹の帯
三 笠 ひとつ 梭 の風
五 詩骨驚も医 ちの鳥よりさて乗
一 碎かぬと 沼 月
一 うるうて 浜 ちる

七 待 気 色 今 戸 都 ひ 焼 夕 こえ
一 物 月 下 蔵 色 の 月 絶 ぬ 雪
一 紙 夜 の 月 ま こ き ま 小 宗
一 上 ち ち 世 ま 意 の 注 意 曲 ま
四 道 う 新 ま ま 梭 の 八 重 ま
一 蛇 宮 を 出 ま 陰 風 人 切 ま の
一 炭 火 の 去 歳 ま 月 そ ま き 札 守 り
一 家 門 ま ま 梭 一 三 歩
四 夢 ま る 月 ま 注 夢 ま の 向 の 吉
四 天 下 稲 ま 唄 ま ま 月 ま 一 ま 出 ま
こ ま る 夢 ま

五 [illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の風　田舎

五 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

五 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

八 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

五 [illegible]

四 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

五 行程〳〵吏子より玉章繰返し　五川
四 宮崎の次なるいけさうあるゝ
四 綱子郡の高めより夕　宮下
一 初の懸り　祖父の張附　物花
一 角筈の角さとれども出力
二 五寸四寸　切る川筋の家
一 雪欠〳〵月仕〳〵　後の糸の変
一 推の実　於ふ繰〳〵　居窠
一 なつうさ　彦れ　庭の蒔芋
四 机上の蜜　那のさまひ

五 又月高に乃の川筋あり小　又川
五 紫の蝸牛の背を返
四 さるもも原の細道より遠へ
六 下火場へ高〳〵　烟　出き
一 碓　碓より前高　鶏
一 異頁を行遊の芝居変遷
一 月代も小米小粒　杜　婦　妹
一 世東葬さうう　々の産神
四 巡見〳〵　清の物の変居
一 弓法の行の　腰　豚不

一　月花を一つゝあれさ　斉川
一　一　筆をも遊ぶまゝやあけく　、
五　十五　一　騒乗さこの頃吉野をこゝろ衣　、　よろし
一　一　きつゝ訓もつゝき山の戸　振枕
一　一　寺の波のよろしく定めぬうきさす宿　、　邪誤風
四　一　萬度ことく風蝸の音　、
一　一　蝌のよし子古木を伐倒し　、　よろし
一　一　伽藍成就も竜陣人の功　、　よろし
一　一　雲霧く氷る御簾の車船　、　枝末の雪
四　一　箒代禮ぬ丸封壇の盆松　、　よろし　今一句とゝのへ

五　級嬰秋冬の琵琶も声を発て　、
六　一　与越の長き袖引て泣　、
一　二　父母室離れし役夜の飛云　、
一　二　絃天竺の哀さもなし　馬舌
一　一　細子月もうら込む水の姿（アヤ）　、
三　一　桃ふく絣もをとれ白妙　、
十四　十四　又筆くほし涼く八幡の茶の水　、
一　一　ゐゐのし荷縁の梨子地文箱　、
四　一　蓮兵子紫の翡翠も口をも関　、
一　一　逢の魚ひもされ晃子清　、

一 [illegible]天寺女の[illegible]
五 [illegible]
三 [illegible]
一 [illegible]の[illegible]
続八百
一 [illegible]
五 [illegible]
四 [illegible]
一 竹[illegible]
四 [illegible]

一 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

四 宮きたつまよ宮の君ひ語。斉
一 さらさら水流る月よ姫も如。
七 けふは七夕よ通夜恵ち見
四 宮殿の雪芳溪き山おろ
八 三千坊の宮をいるる
三 いなつまを立この花の香 物牡
一 先袖ぬ包み
四 鏡の鏡解
一 武功は恩賞一百石
一 鬼殿川高帽子つ殿。田舎

一 鶴山より飛ぶ
五 鶴鳴き男牡丹
四 笛の調曲 童小舎人
四 夕月新月塔をかり結
一 鶴の笛に恵の蔵
四 摘草は姫も川辺の
五 中よき姫を
四 風ふく小川よ石の橋一つ
十四 橋も岩又六ヶ門
一 雲雪の月を踊る

一けつ平とく　秋七樹陰　田舎

四　数人を引き来る　高隣

一　屏風の前　蛍の注　蛍の時　鍵翠

四　別と所　仏しらう　仏のようなる　髪

五　高瀬川　よりつ　ちよう　拾ひ里

四　来つるの　新潟　ふ所白し　を誘ふ　竹の多

一　練る　鶏鳴　よりつ　年の秋

一　唐国より日本の　智恵を　蘆屋　月夜

一　高石を　仏　仏者のうた　大路

五　神もまつる　仏　位もて　拾ひ　育

一　源人のうち　鍵き　夜月

四　鍵ひ　黄金　夜月ハせうつ　ちこ　ときき

一　小倉　源人の注　庵　原

六　尼天の　源　貴人の　主　姫

三月

二　弘の　弟　姫　住吉　姫　ひろ　ひろ

五　日　住吉　住人の呼

一　藤　尼　鬼　ハ

四　蔵　東　村　ハ

五　神　ハ　ハ　ハ

二　戦の　ハ　ハ

一田舟　仕舞ふ　舟　身厚

五　石女の年より若く　髮　結ふ

二　ものゝ　元の　お姓

一　醉　象も　庚申　紀の　御命位

四　猿を　自慢の　蕎麦　の　実入

四　志ゝ　雲を　流ゝ　このむの　遊ゝ　猪　藪山

一　京も　秋　わ　雲　の　多

一　山田　雪　紅　淵　月　交

五　附　計　ゝ　古　の　居　服

一　已ゝ　名　後　の　世　鶴　小　説　書

一　恋　さ　ま　く　蕃　客　の　解

四　ゝ　ゝ　の　浦　を　変　ま　ま　和

一　山　平　居　ゝ　ま　下　る　松　自　浮

一　乾　坤　を　絢　ま　仲　解　の　浦　仏　多

五　化　ゝ　こ　ひ　の　ま　る　仲　瓶

四　名　物　く　世　も　名　ま　の　氣　畠

五　三　粧　仲　ゝ　ま　ま　ま　ま　雲

一　夕　月　ま　影　も　錦　の　赤　紅　仲

一　天　の　ゝ　亀　冒　ま　篠　京　藪山

五　芭　刀　の　蘿　ま　ま　ま　秋　の　風

四 宗を受し 古廟 子孫 榛
四 花を見て 子孫 弱人まるの
一 茸 中之名の 荒むる日記
五 小 第 鐘鈴の 遠鞭
三 程を 洋 第 而紀
一 万能子 富 彩 方の 一回
四 水 鼎 簪子 隔州 雪 賀
五 茶湯を 佳吹 中紀を 鞭
一 鞭 太 鏡子 而 い 新
五 太 祝 祠 何 この 紀 帯 馬

四 月 こ 雪 洗 車 雨
六 蛭 州 寄 夜 弱の 餅 第 身
四 乳 服 宝 生 の 蔵
一 松 風 の 年 子 別 も 蔵
五 那 を 二 代 の 伽 盛 を 海
七 子 の 名 の 京 を 詩 家 房
一 度 中 く 深 く 使 教 一 部
四 拾 年 石 波 第 子 苦 む く 五 川
一 波 子 陸 子 の 好 遠 松 の 杖
一 殿 の 油 引 て 年 の 陸 の 子 て 七 師 妹

一　髪のゆけを御気にされ男　五川
五 一　東京子市の出立の心し
四 一　京中の神酒を飲く
一　おだ撰者一国無作　一本
一　綿半分なさきけふの暖

續九百

五 一　さらりと手射の弓張崎らく
四 一　幕を闌け仕出を無為
一　御庭紀八頂の鼓子松の陀
一　挽茂さまつく読る蓮生

一　生花の絶無月刹の安来ける
五　何咲ぬるなつき朔日
四 一　今年らそ月子来るの斤役
一　夜さりの百子葉八ぶれ
一う　倒出て至栗子子ころる乾在　撫北
四 一　針御気れ子探る回弥
一　赤くと多居字く露名乞れて
五 一　麻婆の去年を三国の方
一　松子の藤に紫をうち帳と
一　涼き袖ゆ柳　妙り面庭

四 河内の国にて本下寄　柳生

五 松尾清水の月の柳影

十四 四 東庭の轄寺付　漢筒

一 硯の海に浸す　八条

四 雲雀色の弱き藪　隅川柳

一 花〻〻〻〻　如意若葉

一 夕霞引き初めるの藤棚

二月

一 垢をきらう　合歓咲く

四 入船を釣る　不二聖　馬琴

一 筑紫に　よせる聖　放生会

四 恋の赤絵の桜をうつさせる

五 絵見櫻　白の野　猪

一 初月と一万坪　小分のこる

五 畠あるし　猪の糞

一 錦木を折小屋　もる唐こ

一 夜もすがら　雪より　張応

一 月清き方士の御のまゐる

五 琵琶の洞の動きの庵

四 已に〻〻擬按　△ろの　礼海　藤山

五 鄰の蕎麦　白い　沼る　湾橋

八 [illegible]の寧楽の昔曲。藤山

五 瀬をうの使引 入る風吉

三月

一 三布を夜く行て渭女う舟路

二 天かうとも雲の共音

四 雪をうる物の使の梅うえて

一 渡を分て家の部を態

五 雷のうりをうる笠いられ

四 泊 残 不 怖 よ 粮

四 汀 [illegible]の瀬をもうの仮出て。自浮

七 月光 波をうを安寿 財を

一 [illegible]の風を

一 [illegible]

五 [illegible]の水の上よ汲賀

一 惜を志きうる解る月

五 [illegible]の苑の面 藤山

一 四方をこ住 佐保姫

三月

六 彩国よ矢先年 児ふ

一 [illegible] 桐の風

四 螺ぬけの行て一星の[illegible]波

五 神を白蛇 立蔦 文

一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

五 [illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]
一 [illegible]
四 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
五 [illegible]

四月廿三日こゝを発して高砂・田舎
一 厚薩・紀州・[illegible]の所々
一 富士・[illegible]・所の年ちかの雲
一 [illegible]の[illegible]
五 波面の風のたゝりの浮[illegible]
一 鯛川 細の[illegible]
六 笠脱ぎ[illegible]
三 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

一 [illegible]人を小降
一 切る尾ちかの[illegible]
三 本像の指の[illegible]
四 数[illegible]
一 指[illegible]
一 日[illegible]
一 文月の[illegible]
六 [illegible]
四 上人を[illegible]
六 こちの栗[illegible] 三両

五 交織の紬もしくは麻布 馬具
四 けもの皮 鞍
一 ほかけ 猟具
一 猟具別れたる麻糸
一 光さうの光 光明の幕
一 蝋の古巣を煮て 笹蟹
續十百
四 の月 ものの字治の如し
一 ※ 高麗の織のこと
五 古伯耆の古い 磨洞 ※

四
一 佐琴 送使 ※ 琴の字
一 ※ 高麗 ※ 麻の多
五 他家の麻 ※ えの つゝよ 宮
一 我絹 大なる 黒 袖 ※
一 黒 麻 嵯 ※ 日源 ※ 毎
五 まゝ まゝ 猟の ※ 伊 ※ 巨 燈
四 ※ ひて 連 ※ 神
五 簡の ※ 句 ※ 黒の小 ※ 黒
四 武 ※ ※ 三 椀の辭
四 宝 ※ ※ ※ 時 ※ 指

十四

一 [illegible]門の夕只 [illegible]

さいつ[illegible]清水[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]の師の[illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]

一 [illegible]

五 [illegible]

六 [illegible]

五 [illegible]

五 [illegible]の[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四 [illegible]

四 [illegible]

一 小[illegible]

一生駿馬き業不の雲隠 藤山

七月ゆゑ今朝二条散

四古墳清る墓原乃秋

二ウ

四夢幻の如孔雀も舞ふ

一四十年ものもの舞ふ

一ゆゑ月ゆゑ丸太の大篝

四犠牛ひとつ雲の犠牲

一苔の石入相の鐘この庭に吳

一和睦の使ものの宝線解る

四胡ものもの嫁入の薩摩

一古人の恋き滅亡の雲隠

一海を眺る黄昏の秋文

五月の雲る推量乃袖

五月々の屋もちの芋鞠

一撥この撥ける牧い川幡

四ものの月芋酒の海をゆく雲

一真こころ真ん中に芋

三ウ

一夕霞あるて蘭姑射の華乙

五七々ここ神の文

五高砂やこの歌を松に弱法師

一 蔦暗かれ繁くあれもなし　ヽ
一 一 出見れくらしや何の宿さかし。　ヽ
一 けふ定出しと廊の人群　ヽ
四 一 紙帳も引き去りて去るやらん　△翌節　ヽ
一 風行きの荷秋よし　ヽ
六 ささまし小男の唖く気まゝ　△あけしう　ヽ
一 一 箸眼みるく小猫工も好く　△谷の人の注　ヽ
一 揚屋草さるゝし借く色事来　ヽ
一 一 女中観まる秋雪方の鐘　△よろし　ヽ
三 月下酒尽の拍言切捨て。　△夢さるゝ座へ先々　ヽ

月澤

一 秋見れ松の色この三秋　ヽ
先草宗匠庵の去風に 風ふて紫の報も仰も
ここ
四 一 海士二人法躰袖のかもこゝに　ヽ
一 うすまし さし糸泥の痒　△古事にさしのことより　ヽ
一 志んとと神の内外のことの縁き　ヽ
一 一 雪見れ舊年 業まし借　△うれし　ヽ
一 すえぬきし冬へ報ん八秋の恩。　ヽ
八 旅すしを帰ともふも生酔　△佳作の珍句　ヽ
一 一 弓枝子牛車挽く 一やさし　ヽ
一 一 松の深やら唐琴の浦　ヽ
一 旅人も好く撰をそ子ぬれ　△新月　ヽ

田舎

一 神代もはるかに流れし文月 四金
五 数巻の大の新撰 文月 仕舞後
一 風なつかし 風も 小 瓶
四 寒さ世に 晩秋 咲きて 枯れて
一 一両に四五寸 伸る 若芋
四 雲多き月 屋敷 多の新月
一 寒し 外 物語の 寒
四 ちりぬの 世の 月 月の波
一 落葉を 流して 幕月の波
一 行く末 鳥の 形 食 小 屋の 秋

五 美濃 信 笠 掛の 霞
二 二月の 板 形 新の 水
一 世 翻 沙 水
五 いろ一の 来 七 七
一 塩 行 鏡 半 面 馬
一 数 孔 時 力 拍 拍 拍
五 黄 熟 月 黄 昏
一 河 葉 絶 葉 橋 月 白
一 猿 水 の 月 ここの
五 月の 流 幸 数 楽 秋の 雲

四　[illegible]と云ふ[illegible]の意味　馬[illegible]
二　雑色も[illegible]て[illegible]る　[illegible]
六　[illegible]も　笛吹く　風の[illegible]
一　まるまるに何を[illegible]る小高い
一　けふは[illegible]又[illegible]の[illegible]外
五　合[illegible]を持も[illegible]け[illegible]法の花
三　[illegible]の紫の[illegible]すると[illegible]

余興七十二

一　[illegible]の[illegible]の[illegible]巾　[illegible]
一　[illegible]歌[illegible]見る[illegible]

一　[illegible]の[illegible]地[illegible]を[illegible]遠へ[illegible]
四　[illegible]る[illegible]の[illegible]
一　風[illegible]の[illegible]
一　[illegible]の[illegible]を[illegible]
一　[illegible]に[illegible]る一層[illegible]
一　[illegible]の[illegible]る[illegible]の[illegible]
二　[illegible]を[illegible]
一　[illegible]探[illegible]高[illegible]中垣
四　[illegible]の[illegible]
一　入[illegible]の[illegible]細[illegible]る川[illegible]

一世を隅よりそ[illegible]ぬる筆業人　馬琴

一鍋の尾さへ[illegible]ぬる唐

一吸物をうつ武豆腐の汁合

三　[illegible]の桃よりも粘ハ[illegible]

四　地〳〵[illegible]の[illegible]鏡よ月の眉

一　[illegible]を[illegible]るの小役をまる

七　[illegible]〳〵流の[illegible]門板

一　[illegible]方の洋むる居座[illegible]

三　[illegible]

三　[illegible]の[illegible]　[illegible]

二ウ

五　[illegible]の田[illegible]いて[illegible]

二　[illegible]二人遠立

一　[illegible]を[illegible]

四　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

四　又[illegible]の紐の締　加減　[illegible]

一　[illegible]

五月

一玉兎もみ[illegible]

四腰[illegible]石を野宿[illegible]

六歳[illegible]天を乗[illegible]

一浦門の雪[illegible]子房[illegible]

一夏[illegible]横[illegible]の風

一新高の月を[illegible]

一明[illegible]油[illegible]

四仏[illegible]

一[illegible]

四

一[illegible]

四[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

四[illegible]

一[illegible]

五、吹つきの吹をたゝ新〻物を拵
八、吹つい風を物干〻物
一、ものいふ〻ものと物
一、道ち一郎 郎義 武蔵
一、川越のきのつる智恵 湖船〻
一、幾のおなの〻〻ふ〻下
五、ものさま〻〻吹華 ものの田舎 田舎
一、いも病れ子を味 有〻物
一、ものと〻ものと〻 光明 光明
一、新ち一郎 第行が

一、押行〻〻車 庭ち 吹む 鳥 足 鳥
三、指〻〻〻〻〻〻〻 鳥の子 鶏
五、関の戸の 鳥き 鶏をいつまでも
四、つけ 嘘ち 八歳〻〻〻
一、肩〻物の文字〻〻〻 後の汗〻〻
六、年 鶴の 遊ち 鶴の名 鶴
四、蒲 の命 〻〻〻 水 の
一、明 有 む 鶴の 〻
三、花ち行〻〻及ち〻〻〻 六 紙 藤
〇、ものの子〻〻 ち 七 枡

馬琴　百七十八句
五川　百七十八句
孤遊　百七十八句
蕪山　百七十八句
自得　百七十八句
田舎　百七十八句
執筆　四句

右一巻寛政十二庚申年閏四月二日發言。
同七月七日満尾。同月十七十八両日補正
校合。同二十日二十一日両日清書。同二十三日詰判。
同八月八日出點。同月土日連衆會于曲亭而披
講東岡舎靈前各燒香。後開巻而定甲乙
風月庵雪碇批点並後序　催主芳艸亭孤遊
曲亭　馬琴補助並自評
雪碇評
天　馬琴　五百五拾九
人　五川　四百七拾九
地　蘇山　五百五
馬琴自評
天　蕪山
地　五川
人　自得　孤遊　田舎
寛政庚申七月二十九日騰写于著作堂雨窓冥

再考
[illegible]
[illegible]

十五
[illegible]
藤
十五
[illegible]
[illegible]
十五
[illegible]
[illegible]

十五
[illegible]
藤
十五
[illegible]
月
十一五
[illegible]
[illegible]

十五

思ひきるかはるの小橋の水の秋　三条

十五

風の音に月の橋の橋ぬ

橋し月ぬ　又六の門　田舎

十六

打ち寄せ月の橋の

車庭の籠投こむ濃筒　柳花

十五

水の上の門の多ち

踏ゝ清水の橋ぬ月を宿　々

當日席上出題

京都より三とせ程の秋の月　雪庵

うつるかゝ　一友　三条

秋深ゝ月を惜む人　柳花

橋のうへ　橋心

家ぬ数大神宮　橋炭　五川

古事記の文　無西　再

時雨ふる度ごとに見渡せば　ふもとの小　櫻花

梢を揺る清き風の音　山

美濃なる高屋の度ごとに　川

面影ゆかしき山の一本　長

砂漠の四つの宮殿　行く子　松

春近き月の上宮　山

色の面影の紀の高　川

英潮の晩霜　十六の秋　長

ふるさとの春の高きに眉の長　松

賀の砂漠の美　美　小

山高き世の小　小

柳の夕　花の朝　川

明の色　長

友泉の五月雨を秋の雲　六雲橋　蕉

月は白砂なる雲の新屏　芝川

咲衣の袖のきぬの玉ぬき　玉巵

瑞国の酒を移すとて　柳花

書函の書寝るを夕鳥　山

酒とる木の一本　川

恨とる茅屋の月と鵑　巵

あとをいとふかこの髪　柳花

楊子の生涯の面影　山

けんとむ笠の音は旅の　川

今宵とる樹の泥亀鶴　巵

蔵の支度とる人体の秋　柳花

清とる雲の秋の月の恋　山

蔵朱子年末元年分遊別　川

聖廟の晩の法の夜、鳴さやく　春

花の風を　梅の香を　小　枕

春の雪　霞　霧の人　羅漢　山

芭蕉　油揚の　年　の　月　川

芭蕉

寸三

春の碑　碑　問人　墓の秋　芭蕉　枕

月の瓢の　蛇　とも　友　丁　春

沖丁の巳も　衣　春　心

傳　春の碑　碑　川

居合　居合　是　所　春

又も　河　居　枕

代系の　碑　の　村　心

出系　出系　ふ　沖の中宮　川

梅　梅　の　桐の中　春

七夕の杯に、一節　北

新宅の河もとに連句侍りし　山

賛おのづからさゝく厨のうちつき　川

温泉に入て　二郎　丹

菌志きりよの芋に古鍋　北

旁原に耶麻の芋をたゝく　山

おの晩に帰て杯湾の詩　川

詩を破て侍の行庚の弟子俳　丹

京冠を望む漢帝の嶋　北

廿四

三秋をこゝろとしてこの油の雫　調和子　山川

爰の秋とゝ十秋の風　孤地

夕月の比世界の藤をゝ　藤山

贄判さけ[illegible]この男年　馬喜
[illegible]年も流れ流れの俺作兵　北
四[illegible]ると危く引込　山
大坂の北の中ゝ[illegible]　川
[illegible]ても[illegible]人間の四　平
[illegible]この風を吹入る[illegible]　北
[illegible]ゝ三之の文　山

[illegible]の[illegible]ける　桂堂　川
国史[illegible]　平
さつそくに[illegible]八月の[illegible]　北
[illegible]対の[illegible]書[illegible]　山
[illegible]計は[illegible]　川
聞し[illegible]　平
八重一重[illegible]の下[illegible]　北

数矢よりそ〻ぎ　芝の茶花　山

井立

遠〻けり三宝寺の法乃宮　馬年

徐よりも考を送る秋風　廣山

月明の窓に数珠の聴除〻　五川

先方一生ちるる侍機　孤花

今〻と出船を留る若狭〻　山

いつの時雨も世をつ〻む　川

数寄を張この数こそ二百　年

恋ひ男と仏名の供僧　花

金堂の貴賤を出る法師の夏　山

宮寺も仏も古り文年　川

宝千年を竜宮花の古葉風　年

蚊屋の月を枕寄　花

つ杖子きつ[illegible]う[illegible]し未句歌　山

家[illegible]て桃葉子讓[illegible]難[illegible]　川

伹有七車さふ子深ふせく　兼

琵琶も[illegible]の[illegible]子居て隠[illegible]　抱

鏡人も[illegible]く[illegible]子花空　山

三般[illegible]越子更[illegible]又　川

右十二句寒夜之後從申至酉〆

神鉾[illegible]清尾[illegible]

當鉄庵　文通

秋風の[illegible]子[illegible]く[illegible]　松[illegible]　同会

唐の[illegible]し[illegible]の[illegible]　中[illegible]会　月峰

[illegible]人の[illegible]もの忘れ[illegible]る
秋の[illegible]のこと[illegible]川
[illegible]国[illegible]人[illegible]れ[illegible]仏を
[illegible]さ[illegible]てよ[illegible]
[illegible]世[illegible]れ[illegible]小[illegible]ひの[illegible]
[illegible]遺[illegible]このみ

寛政十三庚申年八月十四日
再校了

著作者

作者姓名

雪庭 風月庵 又幸年号

藤忠 六条殿 又朱雀

身好 初時好 小と称号

田舎 自得男

[illegible] 吉野定八郎

[illegible] 豊田次郎

[illegible] 打居義左

[illegible]

[illegible] 打居義左

[illegible]

[illegible] 芳仲

五川 初浜矢 湖郎号

[illegible] 小仲号

[illegible] 林 [illegible]

[illegible]

[illegible]